

# キラリ★ 話題の「ひと」



峰崎 久雄 さん  
(田沼町)

## ○プロフィール

佐野市民生委員児童委員協議会会長  
東京での会社員勤務を退職後、7年  
半前から民生委員として活躍

## 佐野市民生委員児童委員協議会の会長として活躍中

民生委員の仕事の中心は、市の福祉事業との連携で、福祉サービスを必要とする方の相談にのり、専門機関につなげることです。

特に今は高齢社会です。65歳以上の高齢者世帯の実態を調査し、75歳以上の方を対象にした、月3回弁当を配布する「見守り」なども行っています。

また災害時の避難の際、ご自身での避難が困難な方を把握し、避難の際に支援することなど、多岐にわたります。

さらに民生委員は、兼務している児童委員として、小中学校、児童館や社会福祉協議会の行事への参加や共同募金、歳末助け合い募金への協力活動などもしています。

本当に多方面にわたる活動ですが、基本は行政機関とその支援を必要とする人をつなぐ働きになります。関わった人たちが元気になる喜んでくれた時などに、やりがいを感じるのとことでした。

非常勤の地方公務員として位置づけられ、責任は大きいものの、無報酬という役職です。今後の課題としては、こうした活動の担い手がなくならないためにも、民生委員の活動への理解を広めることが不可欠です。

昨年は民生委員制度発足100周年の年でした。その機会に佐野日本大学短期大学で、若い学生さん、ボランティア、その他関心のある方等を対象にして活動状況を紹介する機会を設けました。

何かあった時に、お互い助け合う人と人。そのつなぎの役目を果たす民生委員の役割はますます大きくなると感じました。

(市民記者 福田 満)



弁当を配っている峰崎さん

## 市長からの

## メッセージ



あじさいの花があざやかな季節となりました。皆さんいかがお過ごしですか。

この時期、各種団体等の総会や催しなどが数多く開催されており、私も時間の許す限り出席し、皆さんからの幅広いご意見を市政運営に取り入れていきたいと考えております。

さて、今月号の特集では、今年度からスタートした第2次佐野市総合計画について掲載しております。今後12年間のまちづくりについて、地方創生をさらに促進するために「定住促進」をまちづくりの推進テーマに位置付け、各種政策を行ってまいります。

先月12日には、内閣府の梶山弘志・地方創生担当大臣が佐野市を訪れ、本市での地方創生に向けた取り組みを視察されました。視察先として、民間主導で海外からの誘客を促すインバウンドに取り組んでいる、佐野駅前の「日光軒」をはじめ、国内初の国際基準を満たす「佐野市国際クリケット場」並びに「佐野インランドポート」を訪れました。

特に本市の「クリケットを核としたまちづくり」については、先進的な取り組みとして国も大変注目をしており、この度の視察は注目度の高さを表していると言えますので、今後とも全国の地方創生のモデルとして事業を進めてまいります。

4月から開催されておりました、デスティネーションキャンペーン「本物の出会い 栃木」も今月で終了となりますが、23日、24日には、「天明鋳物と佐野の手仕事フェア」が道の駅・どまんなかたぬまで開催されます。千年の歴史を誇る天明鋳物と節句人形や他ジャンル作家の作品との共演であり、本市の職人による手仕事の魅力を再発見できる催しとなっております。皆さんも是非、足をお運びください。

岡部正英



## 「さのまる像」が完成しました

4月14日、佐野駅前にて、市の伝統工芸である天明鋳物でできた「さのまる像」がお披露目されました。

さのまる像は、大型観光企画「デスティネーションキャンペーン（DC）」の一環として制作したもので、今後、市の新たなシンボルとして、訪れる方々をお迎えします。

市民の皆さんや佐野市を訪れる方々に、末永く親しまれることを願っています。



完成した天明鋳物製  
「さのまる像」



さのまるも燕尾服でお祝い



さのまる像を囲み、記念撮影

## 「史跡唐沢山城跡保存会」が活動を行っています

4月14日、昨年発足した「史跡唐沢山城跡保存会」による史跡の環境維持・向上の活動（伐採、草刈等）が、「平城」から「北城」にかけて行われました。

また、4月21日、29日、5月6日の新緑が眩しい中開催された『国指定史跡唐沢山城跡「春の攻略ガイドツアー」』では、ボランティアガイドとして史跡唐沢山城跡の魅力をつつりとお伝えできたとのことでした。

史跡唐沢山城跡保存会のメンバーは唐沢山城跡の魅力を知り尽くしている方々ばかりです。希望により、南城館下の「一つ目堀」から「つきとや」のクランク状の堀切や土橋を結ぶルート、また、「金の丸」から「平とや丸」東側を結ぶ削平跡のルートガイドも可能とのことでした。

唐沢山城跡の魅力を再発見して、戦国時代にタイムスリップしてみたいかがですか。



保存会ガイドツアーの様子



史跡の環境維持・向上活動  
(伐採)の様子

(市民記者 中里聖子)

病気のために、皮膚の一部にうずたかい筋肉の固まりができることがあります。その固まりを「こぶ」といいますが、俗に「たんこぶ」ともいいます。このような「こぶ」がまぶたにできる「じやまになり」「目の上のたんこぶ」（「じやま」という意）が慣用的に使われるようになりました。方言では、「目の上のタンコブツ」といいます。「ツ」はこれといった意味のない接尾語です。

また、外傷による筋肉の固まり、たとえば野球のボールが額に当たってできた「こぶ」なども、タンコブツといえます。

「たんこぶ」も「タンコブツ」も、もとは盛り上がった固まりの意でしたが、余計なもの、じやまなもの、意として使われるようになりました。

「しゅうとめは、ウルセーコターいわねけど、嫁にとつチャー、目の上のタンコブツなんだね。だってヨメゴト（ぐち）ペー（ばかり）いってるからさ」

紐の結び目にもふくらみがあります。紐の一般的な結び方に、本結び（小間結とも）と片結びがあります。紐の左右の先端を二度からませて結ぶのを本結び、紐の一方はまっすぐのままにし、他方をそれにまとして輪に結ぶのを片結びといいます。これらの結び目はこぶのよなふくらみがあるので、これをタンコブツといいます。

「タンコブツに結んだナエーケド、ひもをウデッコキ（思いつきり）ひっぱったもんだから……、何としてもほどけネーで困ってるんさ」

(市民記者 森下喜一)

佐野  
ばんてい

瘤（こぶ）をタンコブツ  
といった

### 今回の表紙 「佐野ブランド姫 福士 奈央さん 一日消防署長に就任」

KOUHOU SANO 平成30年5月16日(水)、佐野ブランド姫の福士 奈央さん(SKE48)が一日消防署長に就任し、市内の幼稚園児と一緒に火災予防に関する啓発活動を行いました。